



統計数字の背後に デンマーク 北欧諸国の本当の姿



コペンハーゲンの空港に到着すると、‘世界一幸せな国によるこそ、’と英語で書かれた看板が目に入ります。実際に国連機関が行った各国国民の意識調査ではデンマーク国民は自分たちが幸せであるとする自意識が他国と比べて最も高いとされています。昨今日本で問題になっている出生率もこうしたことと関係があるのでしょうか。専門家の方々がしばしばとりあげることなのですがデンマークをはじめとする北欧各国ではこの10年ほど出生率が上昇していること。その背景として出産育児への公的補助の整備強化など手厚い社会福祉システムが指摘され、更に子供を生むことに対する権利意識等も理由として語られます。デンマークにおける統計では確かに80年代半ばには1.3まで低下していた合計特殊出生率が10年間で1.7程度まで上昇したことが示されています。社会政策が似ている他の北欧先進国もおそらくはそう変わらぬ傾向があるのでしょうか。統計の数字そのものは確かなものですから北欧の高福祉（高負担）社会の出生育児に対するシステムの実効の最も分かりやすい例としてしばしば指摘されるのです。福祉システムの充実が先進諸国の大きなテーマであることは間違いないのですがこうした数字のみが一人歩きしてしまうのも如何なものでしょうか。日本や欧州のトップリーダーであるドイツと北欧各国の社会福祉、出産子育ての施策にどれだけの大きな隔たりがあるのか(負担も含め)よくよく比較検討してみることも必要でしょう。出産、子供手当教育扶助等は現在相当程度日本でも(ドイツでも)整備されているようにも思います。ドイツの出生率が低くフランスや北欧諸国では高い、、、これは社会福祉の高い低いというより何か他にも輻輳的な背景があるのかもしれませんが。たとえば人口統計ひとつみても北欧5カ国の人口は90年に2300万人であったものが2014年に2600万人と25年で僅か300万人、年率わずか0.5%ほどしか増えておりませんがその間域外から移民として新しく国籍を取得し各国の国民となった人々は現在全人口の1割(300万人以上)以上となっています。ではそもそも出生率についてもその国にもともと住んでいた人々と移民からその国の国籍となった人々とは同じなのでしょうか? 国全体としての出生率に原人種民族と新人種民族で差はないのでしょうか? それにともなう人々の意識はいかなるものなのでしょうか? 統計を見ると私たちがそこに示される現象の原因である背景をよくよく斟酌してみてもゆく必要もあるのではないのでしょうか。

T.O



統計数字の背後にデンマーク北欧諸国の本当の姿



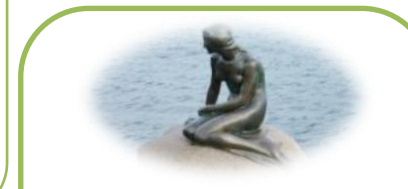
2015年度デンマーク短期留学 International People's College

デンマーク短期留学IPCサマーコース 今年も3名の方が参加し7月26日から8月13日までの17日間英語はもちろんのことデンマークの文化・教育・歴史・社会・デザインなど世界各国の人達と共同生活し触れ合いながら、たくさんの方の事を学び経験しました。

～デンマーク短期留学サマーコースに参加して～

初めての留学で不安だらけでしたが、授業や寮生活を通して、英語の楽しさや大切さを実感することができました。また、デンマークの文化や政治、教育制度は日本と異なる点が多く、非常に驚かされました。2週間という短い期間でしたが、自分の価値観を広げることができ、とても良い経験させてくださいました。
M.T

IPCでは様々な国の方とコミュニケーションを取ることが出来ました。毎日英語漬けの生活に、不安はありましたが、実際に経験すると、心地よく感じました。先生方も親切な方ばかりで、特に校長先生は、様々な仕事をされています。仕事や人生を楽しむこと、忙しい毎日では忘れてしまいたいようなことを、思い出しやすい良い機会だったと思います。この留学は視野も広がりますし、普段の生活では出会えないような国の方とも交流できるので、特に若い方にお勧めしたいと思いました。7月後半から8月中旬までのこの時期は、とくにデンマークを訪れるのに適した時期でした。バカンスを使って、ヨーロッパなどから観光に訪れる方が多く、コペンハーゲンでは人が溢れていました。太陽の光を存分に楽しむ、という雰囲気でも、日傘を使う人は誰一人おらず、デンマークの短い夏を楽しんでいるようでした。今回は色々貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。 Y.F



人魚姫の像

THE STATUE OF THE LITTLE MERMAID

コペンハーゲンの観光名所として知られる人魚姫の像、1913年に彫刻家エドヴァルド・エリックセンによって制作されました。この人魚姫像のモデルは、E・Hエリック 岡田真澄兄弟の伯母に当たるエリーネ・エリックセンという方が首から下のモデルとなっています。人魚といえど下半身が魚のようですがこの像は二本足の足首辺りまでが人間でそれより下が魚のひれになっています。モデルとなったエリーネの脚があまりにも美しかったためといわれています。

この像は首が切り落とされ持ち去られたり、腕がもぎ取られたり、全身にペンキがかけられたりと幾度となく損壊されてきましたが、その度に元通りに修復されています。世界3大がっかりの名所としても有名ですがコペンハーゲンに行った際はぜひ訪れてみてください。

DANISH デンマークポークアカデミー実施 2015年5月10日(日)～5月22日(金)

デンマークで長年培われた技術と理論を学ぶポークアカデミーが開校され、今年も日本の食肉加工業界の方々が基礎理論と実習を学びました。

参加者の感想
今回の研修で改めて、デンマークにおける豚肉産業は国を挙げての事業であることを感じた。研修で得た知識はもちろんであるが、今回の研修で知り合う事が出来た方々との縁を今後も業務の中で生かしていきたいと思う。



普段日本では出来ないような規模での実習で大変よかったです。豚を丸一頭枝肉から捌くという貴重な体験をさせて頂きありがとうございました。同業他社の開発者とこれだけの期間一緒にいるという日常では考えられない貴重な体験をさせて頂きました。講義や実習ももちろん勉強になりましたが、他の方の話を色々とお聞きする事でとても知見が広がりました。この機会でも仲良くなった方々とはこれからも交流を続け、今後もこのネットワークを最大限に生かしていければと感じました。講師の方々とも積極的にコミュニケーションを取ろうと頑張りましたが、なかなか思いが伝わらないことが多く苦労しました。英語も勉強したいです。

デンマークポークサミット 2015 IN サンクトペテルブルグ 8月16日(日)～8月19日(水)

4日間わたってロシア・サンクトペテルブルグにて開催されたデンマークポークサミット2015には日・デンマーク双方から多くの企業代表者の方々にご参加頂きました。駐露デンマーク大使や専門家による講演をはじめ、食肉加工場やスーパーマーケット視察など短い会期ながら参加者の方々には意義のある企画となったのではないかと思います。ロシアは初めてという方々も多く講演や視察に積極的に情報収集される姿が印象的でした。また、こうして豚肉関連業界各分野の主導者の方々が一堂に会することは希であるため、貴重な交流の場にもなったのではないのでしょうか。皆様からは今までロシアに対して持っていた印象が『良い意味で』変わったというお声を非常に多く頂戴しました。私自身も初めてのロシアでしたが、ロシアについてこれまで持っていた印象と大きく異なる所感があり自分自身で体験したことから得るものは大変大きいことを学びました。 和田直樹



DANISH ポーションコントロール 商品説明会

様々な形にカットされた豚肉の展示、それを利用した調理例を紹介した、商品説明会です。
日時 平成27年11月12日(木) PM～(予定)
場所 東京プリンスホテル
お問い合わせはデンマーク農業理事会まで
※豚肉に関する業界関係者のみとしています

DANISH 第15回 Danish Pork 親睦ゴルフ会

日時 平成27年11月14日(土)
場所 プレステージカントリークラブ 栃木県栃木市梓町455-1
お問い合わせはデンマーク農業理事会まで
※豚肉に関する業界関係者のみとしています

チーズフェスタ

チーズフェスタ2015が開催されます
おいしい うれしい チーズでHappy!
日時 平成27年11月11日(水)・12日(木)
場所 JR恵比寿駅から徒歩3分「EBis303」
チーズの販売や試食、チーズを使った料理の紹介やトークショーなどさまざまなイベントが催されます
<http://www.cheesefesta.com/>

本の紹介

デンマークで大きな反響を呼んでいる「悲しみと喪失のシリーズ」のうち1冊、ガンになってからの人生についてデンマーク人が綴った手記を集めたものです。同シリーズの邦訳第一弾としては「高齢者の孤独」、第二弾としては「認知症を支える家族力」がすでに出版されています。

編集後記

今年の夏は7月下旬から8月中旬にかけて猛暑が続く、いつまでこの暑さは続くのかと思いましたが8月下旬には涼しくなり過ぎやすく、気がつくとう日が暮れるのも早く、夜には虫の音が聞こえてすっかり秋らしくなってきました。秋雨前線・台風の影響で雨と曇りの日が多くすっきりしない天気です。この空模様はまだまだ続くようで、秋の行楽にはもう少し時間がかかるみたいですね。
K. H



デンニッシュマークは、良質なデンマーク産豚肉を使用した製品やメニューに表示されています。

